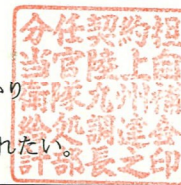


公 告

分任契約担当官
陸上自衛隊九州補給処
調達会計部長 小池ゆかり



以下のとおり一般競争入札を実施するので、「入札及び契約心得」及び「契約条項」を承知のうえ参加されたい。

1 入札事項

| | | | | | | | |
|---------------------------|------------------|--------------|-----------|---------------|-----|-----|-----|
| 契約実施計画番号 | 調 達 要 求 番 号 | 物 品 番 号 | 仕 様 書 番 号 | | | | |
| 3SNE1FE50490 | 3SNS1AB0014 0001 | 831500431525 | | | | | |
| 品名 または 件名 | | | | | | | |
| テープ, ビニロン ほか6件 | | | | | | | |
| 部品番号 または 規格 | | | | | | | |
| 杉織一つ山 OD色 1mm×20mm (50m巻) | | | | | | | |
| 使用器材名 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 数 量 | 単 位 | 銘 柄 | 使 用 期 限 等 | グ ル ー プ | 指 定 | 検 査 | 包 装 |
| 3,000.00 | MT | | | | | | |
| 納地または工事場所 | | | | 引 渡 場 所 | | | |
| 九州補給処 | | | | 九処補給部保管課第3保管班 | | | |
| 搬入場所 | | | | 納 期 または 工 期 | | | |
| 九処補給部保管課第3保管班 | | | | 令和6年3月29日 (金) | | | |

上記項目を含む要求品目の内容については、品目等内訳書に記載する。

2 競争参加資格

次のいずれかであること
全省庁統一資格の「物品の販売」に係る等級がA、B、C、D等級であること
ただし、細部は注意事項による。

3 契約条項を示す場所

陸上自衛隊目達原駐屯地 九州補給処 調達会計部契約課

4 説明会及び入札執行の日時場所

説明会日時場所：実施しない。
入札日時場所：令和5年8月7日 (月) 11時00分 九州補給処 調達会計部 入札室

5 保証金

入札保証金：免除 契約保証金：免除

6 落札決定方式及び契約方式

落札決定方式：総品目総額 契約方式：一般競争

7 注意事項

(1) 入札参加資格者

- ア 予算決算及び会計令第70条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結の為に必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
- イ 予算決算及び会計令第71条の規定に該当しない者であること。
- ウ 「資格審査結果通知書 (全省庁統一資格)」は令和4・5・6年度を保有し、競争参加可能地域が九州・沖縄の参加資格を有するものであること。
- エ 契約担当官等から指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
- オ 大臣官房衛生監、防衛政策局長、防衛装備庁長官又は陸上幕僚長から「装備品等及び役務の調達に係る指名停止等の要領」に基づく指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
- カ 前号により現に指名停止を受けている者と資本関係又は人的関係のある者であって、当該者と同種の物品の売買又は、製造若しくは役務請負について防衛省と契約を行おうとする者でないこと。
- キ 原則、現に指名停止を受けている者の下請負については認めない。ただし、真にやむを得ない事由を該当する旨指名停止権者が認めた場合には、この限りではない。

(2) 入札の方法

- ア 同価の場合は抽選により決定する。予定価格に達しなかった場合は、再度入札を実施する。また、郵便による入札参加者が含まれる場合においては令和5年8月24日 (木) 16時00分に再度入札を実施する。
- イ 落札決定にあたっては、入札書に記載された当該金額の10% (軽減税率対象品目については8%) に相当する額を加算した金額をもって落札金額とするので、各入札者は消費税課税、免税事業者を問わず見積もった金額の110分の100 (軽減税率対象品目については108分の100) に相当する金額を入札書に記載すること。

(3) 違約金

- ア 落札者が「入札及び契約心得」に従って契約の締結手続きをしない場合には、落札者が契約締結に応じないものとみなし、落札価格の100分の5以上を違約金として徴収する。
- イ 契約者がその契約上の義務を履行しない場合は、契約金額の100分の10以上を違約金として徴収する。

(4) 入札の無効

- ア 入札参加資格の無い者又は参加制限されている者が行った入札
- イ 入札金額が明瞭でない入札及び入札者が誰であるか識別しがたい入札
- ウ 入札執行時刻に遅延した入札
- エ その他入札に関する条件に違反した入札

(5) 契約書等作成の要否

契約金額が50万円以上は請書、150万円を超える場合は契約書を作成する。

(6) その他

- ア 公共事業からの暴力団排除を推進するための措置として、九州補給処ホームページ「入札等参加者心得」第9章を確認し、入札書余白に「当社は入札及び契約心得に定める暴力団排除に関する事項について誓約いたします。」と記載すること。
- イ 入札関係委任を受けた者は、入札前にあらかじめ委任状を提出すること。
- ウ 郵便による入札の場合は、令和5年8月4日（金）12時00分までに必着するように送付すること。その際、送付する封筒の表に「入札件名、〇月〇日〇〇〇〇の入札書在中」と明記するとともに、事前に調達会計部契約課担当まで電話連絡すること。
- エ その他入札及び契約心得を厳守すること。
掲示場所：陸上自衛隊九州補給処調達会計部契約課事務室及び陸上自衛隊九州補給処ホームページ「資格審査結果通知書」の写しを入札開始前までに提出すること。
- オ 第7項第1号カの「資本関係又は人的関係のある者」については、入札等参加者心得を参照
- キ 入札室へのパソコン・タブレット・スマートフォン（画面サイズ7.0インチ以上）の持込は禁止

(7) 公告掲示場所

- ア 鳥栖、佐賀、久留米の各商工会議所
- イ 福岡、小郡、久留米の各駐屯地会計隊及び目達原駐屯地調達会計部
- ウ 陸上自衛隊九州補給処ホームページ <https://www.mod.go.jp/gsdf/wae/info/nyusatu/dep/index.htm>

(8) 問い合わせ先

- ア 住所等
〒842-0032
佐賀県神埼郡吉野ヶ里町立野7-1
TEL 0952-52-2161 FAX 0952-52-3748
- イ 入札に関すること
調達会計部契約課第1契約班 担当 松尾（内線2317）
- ウ 仕様書に関すること
装備計画部需品課 担当 鳥飼（内線2485）

品目等内訳書

| NO | 契約実施計画番号 | | 3SNE1FE50490 | | 単位 | 数量 | 名 | | 金額 | 単価 | 銘柄 | 納地 | | 指定 |
|----|-------------|------|--------------------------------------|-------------|----|----------|---------------|-----------|----|----|------|-------|----|----|
| | 調達要求番号 | 物品番号 | 部品番号 | または規格 | | | 引渡場所 | 搬入場所 | | | | 検査 | 包装 | |
| 1 | 3SNSLAB0014 | 0001 | 使用器材名 | 仕様書番号 | MT | 3,000.00 | | | | | グループ | 九州補給処 | | |
| | | | テープ, ビニロン | | | | 九処補給部保管課第3保管班 | 令和6年3月29日 | | | | | | |
| 2 | 3SNSLAB0014 | 0002 | 使用器材名 | 仕様書番号 | MT | 3,900.00 | | | | | グループ | 九州補給処 | | |
| | | | テープ, ビニロン | | | | 九処補給部保管課第3保管班 | 令和6年3月29日 | | | | | | |
| 3 | 3SNSLAB0014 | 0003 | 使用器材名 | 仕様書番号 | MT | 150.00 | | | | | グループ | 九州補給処 | | |
| | | | 二重織 OD色 2×25 (50m巻) | | | | 九処補給部保管課第3保管班 | 令和6年3月29日 | | | | | | |
| 4 | 3SNSLAB0014 | 0004 | 使用器材名 | 仕様書番号 | MT | 350.00 | | | | | グループ | 九州補給処 | | |
| | | | 二重織 OD色 3mm×25mm (50m巻) | | | | 九処補給部保管課第3保管班 | 令和6年3月29日 | | | | | | |
| 5 | 3SNSLAB0014 | 0005 | 使用器材名 | 仕様書番号 | MT | 350.00 | | | | | グループ | 九州補給処 | | |
| | | | OD二重平織り 3×38 (50m巻) | | | | 九処補給部保管課第3保管班 | 令和6年3月29日 | | | | | | |
| 6 | 3SNSLAB0014 | 0006 | 使用器材名 | 仕様書番号 | MT | 300.00 | | | | | グループ | 九州補給処 | | |
| | | | ビニロン帆布 | | | | 九処補給部保管課第3保管班 | 令和6年3月29日 | | | | | | |
| 7 | 3SNSLAB0014 | 0007 | 使用器材名 | 仕様書番号 | MT | 1,000.00 | | | | | グループ | 九州補給処 | | |
| | | | ロープ, ビニロン | | | | 九処補給部保管課第3保管班 | 令和6年3月29日 | | | | | | |
| | | | 仕様書のとおり 付表3 ビニロン・ポリエステル交織帆布10号OD50m巻 | DSP L 4768D | | | | | | | | | | |
| | | | φ9mm 直径9mmOD色(200m巻) | | | | | | | | | | | |
| | | | - 以下 余白 - | | | | | | | | | | | |

防衛省仕様書

帆 布

(CLOTH, DUCK)

D S P

L 4768D

制定 昭和60. 3. 30

改正 平成23. 3. 25

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、帆布について規定する。

1.2 種類

種類は、表1による。

表1 種類

| 種類 | 品番 |
|--------|------|
| 麻帆布 | 10号 |
| | 15号 |
| | 16号 |
| | 21号 |
| | 22号 |
| 綿帆布 | 6号 |
| | 9号 |
| | 10号 |
| | 11号 |
| ビニロン帆布 | 8号 |
| | 9号 |
| | 10号 |
| | 11A号 |
| | 11B号 |
| | 12号 |
| | 13号 |
| | 20号 |
| 21号 | |

表1—種類（続き）

| 種類 | 品番 |
|-----------------------|------|
| ポリエステル帆布 | 101号 |
| | 102号 |
| | 103号 |
| | 104号 |
| | 105号 |
| | 106号 |
| ビニロン・ポリエステル混 紡交織帆布 | 9号 |
| | 10号 |
| | 11B号 |
| ビニロン・ポリエステル交 織帆布 | 9号 |
| | 10号 |
| | 11号 |

1.3 製品の呼び方

製品の呼び方は、種類及び品番による。

例 麻帆布10号

1.4 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部を成すものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

a) 規格

- J I S K 6 2 5 3 加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの硬さ試験方法
- J I S L 0 8 4 2 紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法
- J I S L 0 8 4 4 洗濯に対する染色堅ろう度試験方法
- J I S L 1 0 3 0 - 1 繊維製品の混用率試験方法—第1部:繊維鑑別
- J I S L 1 0 3 0 - 2 繊維製品の混用率試験方法—第2部:繊維混用率
- J I S L 1 0 9 2 繊維製品の防水性試験方法
- J I S L 1 0 9 5 一般紡績糸試験方法
- J I S L 1 0 9 6 織物及び編物の生地試験方法
- J I S M 7 1 0 2 ビニル加工布風管
- J I S Z 2 1 5 0 薄い材料の防炎性試験方法(45°メッケルバーナ法)
- J I S Z 2 9 1 1 かび抵抗性試験方法
- J I S Z 8 7 0 3 試験場所の標準状態

b) 法令

計量法(平成4年法律第51号)

2 製品に関する要求

2.1 原糸

原糸は、付表 1～付表 6 によるもので、帆布の製造に適した糸むら、番手(織度)むら、よりむらなどの目立たない良質の紡績糸及びフィラメント糸とする。

2.2 加工

2.2.1 組織

組織は平織りとし、織り方は均正で織り傷、糸節、汚れなどの欠点は少なくなければならない。

2.2.2 染色

- a) 染色は、帆布の染色に適した染料又は顔料などを使用し、均一に染色しなければならない。
- b) 色は、調達要領指定書によって指定するものとする。

2.2.3 特殊加工

- a) 特殊加工は、良質の特種加工剤を用いて基布に均等、平滑に加工したものであって、容易にはく離してはならない。
- b) 麻帆布及び綿帆布の10号帆布の樹脂加工は、片面とする。
- c) 防炎加工は、調達要領指定書によって指定するものとする。

2.3 品質

2.3.1 外観

外観は、仕上がり良好でピンホールなどの欠点があってはならない。

2.3.2 性能

性能は、付表 1～付表 6 に規定するおとりとする。

2.3.3 寸法

寸法は、調達要領指定書によって指定するものとする。

3 品質保証

検査は、表 2 による。

表 2－検査

| 検査項目 | 試験方法 | 判定基準 |
|--|------------------------------|----------|
| 原糸 | 付表 1～付表 6 による。 ^{a)} | 2.1 による。 |
| 加工 | | 2.2 による。 |
| 品質 | | 2.3 による。 |
| <p>注^{a)} 試料の採取・準備 帆布の両耳から幅方向に10 cmだけ耳を除いたものについて全幅の異なる箇所から採取し、温湿度が影響する試験に供する試料は標準状態(JIS Z 8703の標準状態の温度、湿度及び許容差が20℃±2℃・65%±2%の状態)に放置し、水分平衡にした後、試験を行う。</p> | | |

4 出荷条件

4.1 包装

包装は、商慣習による。

4

L 4768D

4.2 外装

a) 調達要求番号(又は契約番号)

b) 物品番号

c) 品名(製品の呼び方)

d) 数量

e) 納入年月

例 2012年3月

f) 契約の相手方の名称又はその略号

5 その他の指示

5.1 承認用見本

契約の相手方は、帆布の加工に先立ち色見本を契約担当官等に提出し、承認を得なければならない。

5.2 反末表示

反末の表面に図1のとおり黒色で退色しにくいものを用いて鮮明に押印又は印刷するものとする。



注記 図の数字は、一例である。

図1

付表 1 - 麻帆布

| 項目 | | 品番 | | | | 試験方法 | | | |
|----------------------|--------|--------|------------------|------------------|-----------------|---|---|-----------------|--|
| | | 10号 | 15号 | 16号 | 21号 | | 22号 | | |
| 生機 | 原 糸 | 素材 | 麻(亜麻又はちよ麻長線糸) | | | | JIS L 1030-1及びJIS L 1030-2による。 JIS L 1095による。 JIS L 1096による。 | | |
| | | ％ | | | | | | | |
| | 番手 | たて | 25 ^S | 25 ^S | 20 ^S | 30 ^S | | 30 ^S | |
| | | よこ | 4.5 ^S | 12 ^S | 18 ^S | 8 ^S | | 30 ^S | |
| | より合わせ数 | たて | 3×2(引きそろえ) | 2 | 2(引きそろえ) | 2×2(引きそろえ) | | 1 | |
| | | よこ | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | |
| | 密度 | たて | 44以上 | 43以上 | 65以上 | 57以上 | | 41以上 | |
| | | よこ | 15以上 | 33以上 | 40以上 | 22以上 | | 44以上 | |
| | 加工後 | 色 | 本/2.54 cm | 指定の色 | | | | — | |
| | | | 質量 | g/m ² | | | | — | |
| 引張強さ | | N | 1 100以下 | 720以下 | 620以下 | 750以下 | 320以下 | | |
| | | N | 1 471以上 | 1 079以上 | 981以上 | 1 177以上 | 295以上 | | |
| 引裂強さ | | N | 1 471以上 | 1 177以上 | 981以上 | 1 177以上 | 393以上 | | |
| | | N | 148以上 | 69以上 | 49以上 | 99以上 | 30以上 | | |
| 寸法変化率 | | ％ | たて | よこ | たて | よこ | たて | よこ | |
| | | ％ | -8以内 | -3以内 | -10以内 | -3以内 | -5以内 | -5以内 | |
| 染色堅ろう度 ^{a)} | | 洗濯 | 3級以上 | | | | JIS L 1096のA-1法による。 | | |
| | | 耐光 | 5級以上 | | | | JIS L 1096のA法による。ただし、試験片の幅は3 cm, つかみ間隔20 cmとし、引張速度は20 cm/min±1 cm/minとする。 | | |
| 耐水度 | cm | 30以上 | | | | JIS L 1096のA-2法による。 | | | |
| | cm | 防炎3級以上 | | | | JIS L 1092のA法による。 | | | |
| かび抵抗性 | 表示2以上 | 表示1以上 | | | | JIS Z 2150による。ただし、試験体の前処理はA法, 加熱時間は2分とし、判定に当たっては残じんを除く。 | | | |
| | 表示2以上 | 表示1以上 | | | | JIS Z 2911の通式法による。ただし、試験に用いるかびは第1群のうちのアスペルギルス ニゲルとし、培地は塗料の試験培地を用いる。 | | | |

注^{a)} 白の帆布については、洗濯染色堅ろう度の適用を除外し、調達要領指定書によって指定する場合は耐光染色堅ろう度の適用も除外する。
注^{b)} 調達要領指定書により防炎性を要求されるものに適用する。

付表2-綿帆布

| 項目 | | 品番 | | | | 試験方法 | |
|----------------------|-----------|------------------|------------------|-----------------|-----------------|---|--|
| | | 6号 | 9号 | 10号 | 11号 | | |
| 生機 | 原 | 綿 100 | | | | JIS L 1030-1及びJIS L 1030-2による。 | |
| | 素材 | % | | | | | |
| | 糸 | 番手 | たて | 10 ^S | 10 ^S | 10 ^S | JIS L 1095による。 |
| | | より合わせ数 | たて | 4 | 10 ^S | 10 ^S | |
| | 密度 | たて | 4 | 2 | 2 | 2 | JIS L 1096による。 |
| | | よこ | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | 本/2.54 cm | たて | 32以上 | 44以上 | 45以上 | 43以上 | |
| | | よこ | 23以上 | 33以上 | 34以上 | 39以上 | |
| | 加工後 | 色 | 指定の色 | | | | |
| | | 質量 ^{a)} | g/m ² | 780以下 | 630以下 | 550以下 | 420以下 |
| 引張強さ | | たて | 1 030以上 | 687以上 | 687以上 | 589以上 | JIS L 1096のA法による。ただし、試験片の幅は3 cm、つかみ間隔20 cmとし、引張速度は20 cm/min±1 cm/minとする。 |
| | | よこ | 932以上 | 981以上 | 638以上 | 344以上 | |
| 引裂強さ | | たて | 49以上 | 30以上 | 20以上 | 20以上 | JIS L 1096のA-1法による。 |
| | | よこ | 40以上 | 30以上 | 20以上 | 15以上 | |
| 寸法変化率 | | % | -6以内 | | | | JIS L 1096のD法による。 |
| 染色堅ろう度 ^{b)} | | 洗濯 | -6以内 | | | | |
| | | 耐光 | 2級以上 | | | | JIS L 0844のA-2法による。 |
| 耐水度 | | cm | 2級以上 | | | | JIS L 0842による。 |
| | cm | 40以上 | 50以上 | 40以上 | 30以上 | JIS L 1092のA法による。 | |
| 防炎性 ^{c)} | | 防炎3級以上 | | | | JIS Z 2150による。ただし、試験体の前処理はA法、加熱時間は2分とし、判定に当たっては残じんを除く。 | |
| かび抵抗性 | | 表示1以上 | | | | JIS Z 2911の湿式法による。ただし、試験に用いるかびは第1群のうちのアスペルギルス ニゲルとし、培地は塗料の試験培地を用いる。 | |

注^{a)} 防炎性を要求されるものの質量は、それぞれの品番別質量に50 gを加えた数値とする。

注^{b)} 白の帆布については、洗濯染色堅ろう度の適用を除外し、調達要領指定書によって指定する場合は耐光染色堅ろう度の適用も除外する。

注^{c)} 調達要領指定書により防炎性を要求されるものに適用する。

付表3ービニロン帆布

| 項目 | | 品番 | | | | | | | | | | 試験方法 | | | | | |
|-------------------|----------------------|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|--------------------------------|-----------------|----------------------|------------|--|-----------------------------------|
| | | 8号 | 9号 | 10号 | 11A号 | 11B号 | 12号 | 13号 | 20号 | 21号 | | | | | | | |
| 生機 | 原料 | ビニロン 100 | | | | | | | | | | JIS L 1030-1及びJIS L 1030-2による。 | | | | | |
| | | 素材 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 糸 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 番号 (織度dtex) | 20 ^S | 10 ^S | 20 ^S | 10 ^S | 20 ^S | 10 ^S | 20 ^S | 10 ^S | 20 ^S | 10 ^S | 20 ^S | 30 ^S | (533又は555) | (267又は278) | JIS L 1095 (織度はJIS L 1096)による。 | |
| 密度 | よこ | 20 ^S | 10 ^S | 20 ^S | 10 ^S | 20 ^S | 10 ^S | 20 ^S | 10 ^S | 20 ^S | 10 ^S | 20 ^S | 10 ^S | (533又は555) | (267又は278) | JIS L 1096による。 | |
| | より合む七数 | 6 | 3 | 4 | 2 | 4 | 2 | 3 | 3 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1(267dtex)の2本引きそろえも可 | 1 | | |
| 加工後 | 色 | よこ | 6 | 3 | 6 | 3 | 4 | 2 | 3 | 2 | 2(ヨ良そろえも可) | 1 | 1 | 1(267dtex)の2本引きそろえも可 | 1 | 指定の色 | |
| | | 密度 | 35以上 | 44以上 | 44以上 | 44以上 | 44以上 | 44以上 | 43以上 | 46以上 | 54以上 | 63以上 | 63以上 | 44以上 | 62以上 | | |
| 加工後 | 質量 ^{a)} | g/m ² | 870以下 | 820以下 | 750以下 | 640以下 | 550以下 | 500以下 | 420以下 | 420以下 | 420以下 | 420以下 | 420以下 | 420以下 | 260以下 | JIS L 1096による。 | |
| | | N | 2 550以上 | 2 354以上 | 2 158以上 | 1 766以上 | 1 962以上 | 1 471以上 | 785以上 | 785以上 | 785以上 | 785以上 | 785以上 | 785以上 | 883以上 | JIS L 1096のA法による。ただし、試験片の幅は3 cm、つかみ間隔20 cmとし、引張速度は20 cm/min±1 cm/minとする。 | |
| | 引裂強さ | N | 2 550以上 | 2 354以上 | 2 158以上 | 1 570以上 | 1 079以上 | 1 079以上 | 1 079以上 | 589以上 | 589以上 | 589以上 | 589以上 | 589以上 | 687以上 | JIS L 1096のA-1法による。 | |
| | | N | 148以上 | 118以上 | 118以上 | 59以上 | 59以上 | 49以上 | 20以上 | 20以上 | 20以上 | 20以上 | 20以上 | 20以上 | 30以上 | | |
| | 寸法変化率 | % | たて | 157以上 | 157以上 | 128以上 | 69以上 | 59以上 | 59以上 | 59以上 | 59以上 | 59以上 | 20以上 | 20以上 | 69以上 | 30以上 | JIS L 1096のD法による。 |
| | | % | よこ | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | |
| | 染色堅ろう度 ^{b)} | 洗濯 | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | JIS L 0844のA-2法による。 |
| | | 面光 | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | JIS L 0842による。 |
| | 耐燃性 ^{c)} | 耐燃性 | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | JIS M 7102による。 |
| | | 耐燃性 | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | たて | JIS M 7102による。ただし、恒湿槽は-30℃の液相とする。 |
| | 耐水度 | 初期 | cm | 100以上 | 100以上 | 100以上 | 100以上 | 100以上 | 100以上 | 100以上 | 100以上 | 100以上 | 100以上 | 100以上 | 100以上 | 100以上 | JIS L 1092のA法による。 |
| | | 折曲げ荷重後 | cm | 50以上 | 50以上 | 50以上 | 50以上 | 50以上 | 50以上 | 50以上 | 50以上 | 50以上 | 50以上 | 50以上 | 50以上 | 50以上 | 付属書Aによる。 |
| 防炎性 ^{d)} | 防炎性 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | JIS Z 2150による。ただし、試験体の前処理はA法、加熱時間は2分とし、半錠に当たっては残じんを除去。 | |
| | 防炎性 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | 防炎2級以上 | | |

注^{a)} 防炎性を要求されるものの質量は、それぞれの品番別質量に30 gを加えた数値とする。
 b) 白の帆布については、洗濯染色堅ろう度の適用を除外し、調達要領指定書によって指定する場合を除き耐光染色堅ろう度の適用も除外する。
 c) 調達要領指定書により耐燃性を要求されるものに適用する。
 d) 調達要領指定書により防炎性を要求されるものに適用する。

付表 4-ポリエステル帆布

| 項目 | | 品番 | | | | | | | 試験方法 | | | | |
|----------------------|--------|---|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|---|-----------------------------------|-------------------|-----------------|---|
| | | 101号 | 102号 | 103号 | 104号 | 105号 | 106号 | | | | | | |
| 生機 | 原 糸 | 素材 | ポリエステル 100 | | | | | | | JIS L 1030-1 及び JIS L 1030-2 による。 | | | |
| | | % | | | | | | | | | | | |
| | 番手 | たて | 20 ^S | 20 ^S | 20 ^S | 20 ^S | 20 ^S | 20 ^S | 20 ^S | 15 ^S | 10 ^S | JIS L 1095 による。 | |
| | | よこ | 20 ^S | 20 ^S | 20 ^S | 20 ^S | 20 ^S | 20 ^S | 20 ^S | 15 ^S | 10 ^S | | |
| | より合わせ数 | たて | 6 | 4 | 2 | 4 | 2 | 3 | 2 | 2 | 1 | 1 | JIS L 1096 による。 |
| | | よこ | 6 | 4 | 4 | 2 | 4 | 3 | 2 | 2 | 1 | 1 | |
| | 密度 | 本/2.54 cm | 29以上 | 42以上 | 38以上 | 42以上 | 35以上 | 42以上 | 50以上 | 53以上 | 44以上 | | |
| | | よこ | 23以上 | 34以上 | 30以上 | 35以上 | 43以上 | 43以上 | 50以上 | 50以上 | 40以上 | | |
| | 加工後 | 色 | 質量 ^{a)} | 指定の色 | | | | | | | JIS L 1096 による。 | | |
| | | | g/m ² | | | | | | | | | | |
| 引張強さ | | N | たて | 2 507以上 | 2 011以上 | 770以下 | 700以下 | 1 864以上 | 1 570以上 | 640以下 | 580以下 | 530以下 | JIS L 1096のA法による。ただし、試験片の幅は3 cm, つかみ間隔20 cmとし、引張速度は20 cm/min±1 cm/minとする。 |
| | | よこ | 1 864以上 | 1 717以上 | 1 471以上 | 1 471以上 | 1 177以上 | 1 177以上 | 1 030以上 | 1 030以上 | 785以上 | | |
| 引裂強さ | | N | たて | 177以上 | 128以上 | 118以上 | 89以上 | 89以上 | 69以上 | 69以上 | 49以上 | 49以上 | JIS L 1096のA-1法による。 |
| | | よこ | 177以上 | 138以上 | 138以上 | 89以上 | 89以上 | 69以上 | 69以上 | 49以上 | 49以上 | | |
| 寸法変化率 | | % | たて | -2以内 | | | | | | | JIS L 1096のD法による。 | | |
| | | よこ | -2以内 | | | | | | | | | | |
| 染色堅ろう度 ^{b)} | | 洗濯 | 4級以上 | | | | | | | JIS L 0844のA-2法による。 | | | |
| | | 耐光 | 5級以上 | | | | | | | JIS L 0842による。 | | | |
| 耐熱性 ^{c)} | | 異常のないこと。 | | | | | | | JIS M 7102による。 | | | | |
| | | 異常のないこと。 | | | | | | | JIS M 7102による。ただし、恒温槽は-30℃の液相とし、防炎加工品のみ-20℃とする。 | | | | |
| 耐水度 | 初期 | 100以上 | | | | | | | JIS L 1092のA法による。 | | | | |
| | cm | 50以上 | | | | | | | 付属書Aによる。 | | | | |
| 防炎性 ^{d)} | | 防炎2級以上 | | | | | | | JIS Z 2150による。ただし、試験体の前処理はA法、加熱時間は2分とする。 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 注記 ^{a)} | | 防炎性を要求されるものの質量は、それぞれの品番別質量に50 gを加えた数値とする。 | | | | | | | | | | | |
| 注記 ^{b)} | | 白の帆布については、洗濯染色堅ろう度の適用を除外し、調達要領指定書によって指定する場合は除き耐光染色堅ろう度の適用も除外する。 | | | | | | | | | | | |
| 注記 ^{c)} | | 調達要領指定書により耐熱性を要求されるものに適用する。 | | | | | | | | | | | |
| 注記 ^{d)} | | 調達要領指定書により防炎性を要求されるものに適用する。 | | | | | | | | | | | |

付表5ービニロン・ポリエステル混紡交織帆布

| 生機 | 項目 | | 品番 | | 試験方法 | |
|----------------------|------------------|------------------|-----------------------|-----------------|---|----------------|
| | 9号 | 10号 | 11B号 | | | |
| 加工後 | 原糸 | 素材 | ポリエステル 65±5・ビニロン 35±5 | | JIS L 1030-1及びJIS L 1030-2による。 | |
| | | 番号 | たて | よこ | | JIS L 1095による。 |
| | より合わせ数 | たて | よこ | 20 ^s | 10 ^s | |
| | | たて | よこ | 20 ^s | 10 ^s | |
| | 密度 | たて | よこ | 4 | 2 | JIS L 1096による。 |
| | | たて | よこ | 6 | 2 | |
| | 本/2.54 cm | たて | よこ | 44以上 | 44以上 | |
| | | たて | よこ | 26以上 | 31以上 | |
| | 色 | 指定の色 | | | | |
| | 質量 ^{a)} | g/m ² | | 750以下 | 550以下 | JIS L 1096による。 |
| 引張強さ | たて | N | 2 354以上 | 1 962以上 | JIS L 1096のA法による。ただし、試験片の幅は3 cm, つかみ間隔20 cmとし、引張速度は20 cm/min±1 cm/minとする。 | |
| | よこ | N | 2 354以上 | 1 079以上 | | |
| 引裂強さ | たて | N | 118以上 | 59以上 | JIS L 1096のA-1法による。 | |
| | よこ | N | 157以上 | 59以上 | | |
| 寸法変化率 | たて | % | -2以内 | | JIS L 1096のD法による。 | |
| | よこ | % | -2以内 | | | |
| 染色堅ろう度 ^{b)} | 洗濯 | | 4級以上 | | JIS L 0844のA-2法による。 | |
| | 耐光 | | 5級以上 | | JIS L 0842による。 | |
| 耐熱性 ^{c)} | 異常のないこと。 | | | | JIS M 7102による。 | |
| 耐寒性 | 異常のないこと。 | | | | JIS M 7102による。ただし、恒温槽は-30℃の液相とする。 | |
| 耐水度 | 初期 | | 100以上 | | JIS L 1092のA法による。 | |
| | 折り曲げ荷重後 | | 50以上 | | 付属書Aによる。 | |
| 防炎性 ^{d)} | 防炎2級以上 | | | | JIS Z 2150による。ただし、試験体の前処理はA法, 加熱時間は2分とする。 | |

注^{a)} 防炎性を要求されるものの質量は、それぞれの品番別質量に30 gを加えた数値とする。
^{b)} 白の帆布については、洗濯染色堅ろう度の適用を除外し、調達要領指定書によって指定する場合を除き耐光染色堅ろう度の適用も除外する。
^{c)} 調達要領指定書により耐熱性を要求されるものに適用する。
^{d)} 調達要領指定書により防炎性を要求されるものに適用する。

付表6ービニロン・ポリエステル交織帆布

| 項目 | | 品番 | | | 試験方法 | | |
|----------------------|-----------------|----------|------------------|------------------|--------------------------------|----------------|---|
| | | 9号 | 10号 | 11B号 | | | |
| 生機 | 素材 % | たて | ポリエステル 100 | | JIS L 1030-1及びJIS L 1030-2による。 | | |
| | | よこ | ビニロン 100 | | | | |
| | 番手 | たて | 10 ^S | 10 ^S | 20 ^S | JIS L 1095による。 | |
| | | よこ | 10 ^S | 10 ^S | 20 ^S | | |
| | より合わせ数 | たて | 4 | 2 | 2 | JIS L 1096による。 | |
| | | よこ | 6 | 3 | 2 | | |
| | 密度 本/2.54 cm | たて | 50以上 | | 50以上 | | |
| | | よこ | 30以上 | | 38以上 | | |
| | 加工後 | 色 | 指定の色 | | | | JIS L 1096による。 JIS L 1096のA法による。ただし、試験片の幅は3 cm、つかみ間隔20 cmとし、引張速度は20 cm/min±1 cm/minとする。 JIS L 1096のA-1法による。 JIS L 1096のD法による。 JIS L 0844のA-2法による。 JIS L 0842による。 JIS M 7102による。 JIS M 7102による。ただし、恒温槽は-30℃の液相とする。 JIS L 1092のA法による。 付属書Aによる。 JIS Z 2150による。ただし、試験体の前処理はA法、加熱時間は2分とする。 |
| | | | 質量 ^{a)} | g/m ² | 770以下 | 570以下 | |
| 引張強さ | | たて | 840以下 | 2 158以上 | 1 962以上 | | |
| | | よこ | 2 354以上 | 2 942以上 | 1 520以上 | | |
| 引裂強さ | | たて | 127以上 | 127以上 | 98以上 | | |
| | | よこ | 245以上 | 196以上 | 98以上 | | |
| 寸法変化率 | | たて | ±1.0以内 | | | | |
| | | よこ | ±1.0以内 | | | | |
| 染色堅ろう度 ^{b)} | | 洗濯 | 4級以上 | | | | |
| | | 耐光 | 5級以上 | | | | |
| 耐熱性 ^{c)} | | 異常のないこと。 | | | | | |
| 耐寒性 | | 異常のないこと。 | | | | | |
| 耐水度 cm | | 初期 | 100以上 | | | | |
| | 折り曲げ荷重後 | 50以上 | | | | | |
| 防炎性 ^{d)} | 防炎2級以上 | | | | | | |

注^{a)} 防炎性を要求されるものの質量は、それぞれの品番別質量に30 gを加えた数値とする。
^{b)} 白の帆布については、洗濯染色堅ろう度の適用を除外し、調達要領指定書によって指定する場合を除き耐光染色堅ろう度の適用も除外する。
^{c)} 調達要領指定書により耐熱性を要求されるものに適用する。
^{d)} 調達要領指定書により防炎性を要求されるものに適用する。

付属書A

(規定)

折り曲げ荷重後の耐水度試験方法

A.1 適用範囲

この方法は、ポリ塩化ビニル樹脂又はその他の合成樹脂加工を施した帆布の折り曲げ荷重後の耐水性能試験方法について規定する。

A.2 試験方法の概要

帆布を、たて・よこ方向に繰り返し折り曲げて荷重を加え、折り目部分の耐水性能について耐水度試験装置を用いて測定する。

A.3 装置

A.3.1 分銅

計量法で定められている鑄鉄製枕型分銅、質量10 kg、底面の寸法11.2 cm×16.4 cm、底面が平滑なものを用いる。

A.3.2 硬質水平板

水平板の硬さは、JIS K 6253のタイプAデュロメータを用いて測定し、その規定値がA80以上のものとする。

A.3.3 耐水度試験装置

JIS L 1092のA法に規定する耐水度試験装置(低水圧用)を用いる。

A.4 試料の採取及び調整

A.4.1 試料の採取及び準備

JIS L 1092による。

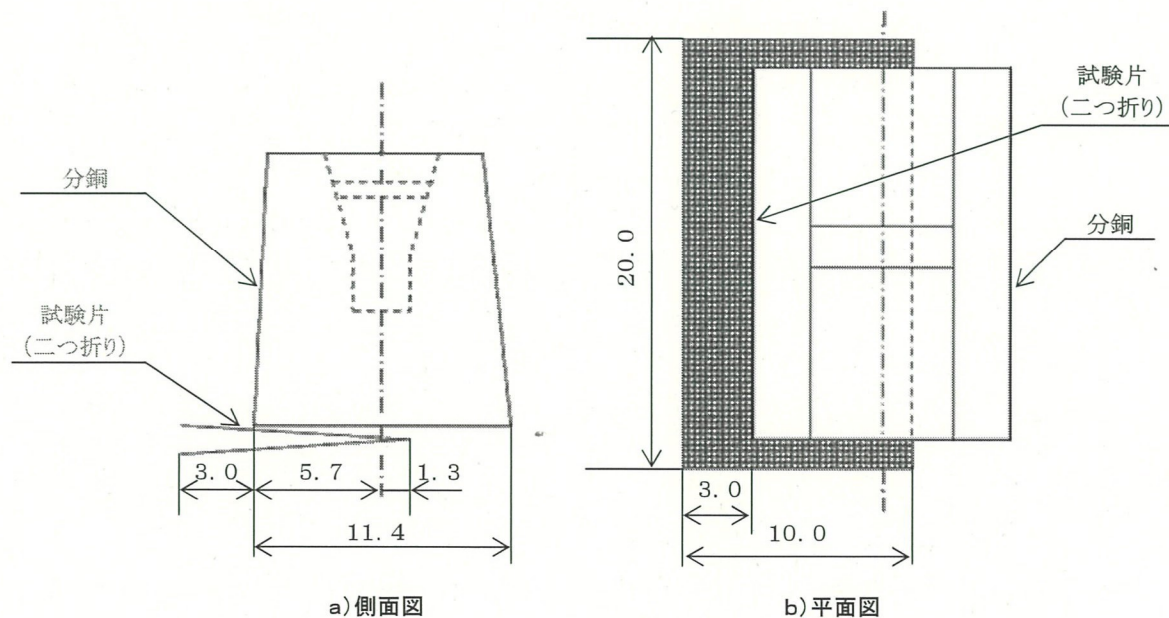
A.4.2 試料の調整

a) A.4.1の試料から約20 cm×20 cmの試験片4枚採取し、試験片を中央でたて糸に沿って180°に折り曲げ、図A.1のように硬質水平板上に置き10 kgの分銅を乗せる。3秒経過後に分銅を取り除き、裏返して同じ折り目に沿って再び180°に折り曲げ10 kgの分銅を乗せ、3秒経過後に取り除く。この操作を5回繰り返す。

ついで、同一試験片を用いてよこ糸に沿っても同様の操作を行う。(1枚の試験片で、たて・よこ両方に操作を行う。)

b) a)の操作を行った試験片を試料とする。

単位 cm



12

L 4768D

A.5 試験方法

J I S L 1 0 9 2 の A 法による。このとき、耐水度試験装置の中心に試料のたてよこの折り曲げ線の交点が一致するように取り付ける。

帆布参考

混紡・交織帆布

| 生機 | 項目 | | 品番 | | 試験方法 | |
|--------|---------------------------------------|----------|------------------|-----------------|---|----------------|
| | 原糸 | 素材 | 混紡1形 | 混紡2形 | | |
| 加工後 | 糸 | たて | たて・よこ共 | 亜麻又はちよ麻長線糸 50±5 | JIS L 1030-1及びJIS L 1030-2による。 | |
| | | よこ | よこ | ビニロン | 50±5 | JIS L 1095による。 |
| | 番手 | たて | 20 ^S | 20 ^S | 30 ^S | JIS L 1096による。 |
| | | よこ | 20 ^S | 20 ^S | 40 ^S | |
| | よめ合わせ数 | たて | 4 | 2 | 2 | |
| | | よこ | 4 | 2 | 1 | |
| | 密度 | たて | 44以上 | 53以上 | 81以上 | |
| | | よこ | 34以上 | 40以上 | 58以上 | |
| | 色 | 指定の色 | | | | |
| | | 質量 | g/m ² | 820以下 | 320以下 | JIS L 1096による。 |
| 引張強さ | たて | 1 079以上 | 490以上 | 441以上 | JIS L 1096のA法による。ただし、試験片の幅は3 cm, つかみ間隔20 cmとし、引張速度は20 cm/min±1 cm/minとする。 | |
| | よこ | 883以上 | 344以上 | 589以上 | | |
| 引裂強さ | たて | 40以上 | 40以上 | 20以上 | JIS L 1096のA-1法による。 | |
| | よこ | 40以上 | 40以上 | 30以上 | | |
| 寸法変化率 | たて | -3以内 | -6以内 | -6以内 | JIS L 1096のD法による。 | |
| | よこ | -3以内 | -3以内 | -3以内 | | |
| 染色堅ろう度 | 洗濯 | 4級以上 | — | 4級以上 | JIS L 0844のA-2法による。 | |
| | 耐光 | 4級以上 | — | 4級以上 | JIS L 0842による。 | |
| 耐水度 | cm | 30以上 | — | 35以上 | JIS L 1092のA法による。 | |
| | 防炎性 | — | — | — | JIS Z 2150による。ただし、試験体の前処理はA法, 加熱時間は2分とし、判定に当たっては残じんを除く。 | |
| かび抵抗性 | — | — | — | 表示1以上 | JIS Z 2911の湿式法による。ただし、試験に用いるかびは第1群のうちのアスペルギルス ニゲルとし、培地は塗料の試験培地を用いる。 | |
| | — | — | — | — | JIS L 1092のA法による。 | |
| はっ水性 | — | — | 2以上 | — | JIS L 1096のA法による。 | |
| | — | — | — | 5以上 | JIS M 7102による。ただし、恒温槽は-30℃の液相とする。 | |
| 通気性 | cm ³ /cm ² /min | — | — | — | | |
| | 耐寒性 | 異常のないこと。 | — | — | | |